

## どんど焼きとは

どんど焼きは一般的に田んぼや河原、神社と言った場所で、竹や木の棒でやぐらを組みます。そこに門松等の正月飾りを入れて焼き、その火や煙に当たります。そして、残り火で木の枝や竹に刺したお餅や団子をいただくという行事です。

どんど焼きで火や煙に当たることで、一年健康に過ごせるようになり、お餅、団子を食べると虫歯にならない、健康になるという意味もあります。

また、どんど焼きの灰は魔除け、厄除けの力があり、家の周りに撒くと良い、ともされています。



## 歳神様をお送りする

どんど焼き本来の意味は、「お正月に歳神様(年神様)をお迎えするために飾った門松や松飾りを、正月の終わる小正月(1月15日)に焼いて、歳神様を空へお送りする」というものです。一年の「五穀豊穡/商売繁盛/家内安全/無病息災/子授け/子孫繁栄/厄払い」と言った願いを込めて行われる行事です。

## どんど焼きは1月の第二日曜日から月曜日

もともと、正月の終わりである小正月の1月15日に行われていました。これは、松の内と呼ばれる、正月の期間中松飾りや門松を1月14日まで飾っていて、その次の日に歳神様をお見送りするためです。昔、成人式が

1月15日であったころは、祝日であったため全国的にこの日にしていましたが、成人式が1月の第二月曜に変わったことから、どんど焼きも休日の第二日曜日、もしくは第二月曜日に行われています。

## 門松、松飾り、注連縄等の正月飾り

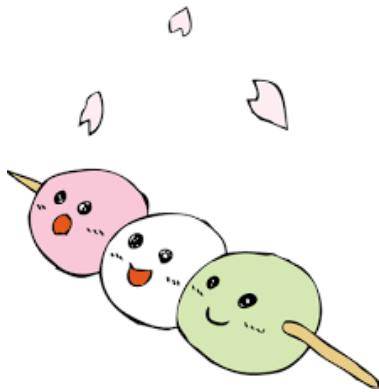
どんど焼きで焼くものは、歳神様をお迎えするために使った門松、松飾り、注連縄と言った正月飾りです。

ちなみに、鏡餅は正月飾りですが、どんど焼きで焼いてはいけません。鏡開きという行事で鏡餅は処理します。



## 正月飾り以外でどんど焼きで燃やすものは

お守り、破魔矢、お札を焼いても良いとしているところが多いです。しかし、他にも



どんど焼きで焼くものに、だるま、書初め、人形、ご祝儀等でもらう熨斗袋、等々、普段焼くのがためられるものも焼くことがあります。しかし、これらは地域や神社によっては焼かないとされているものがありますので確認をしましょう。ちなみに書初めを焼いているどんど焼きでは、その火が高く上がると字が上手に書けるようになるというご利益もあります。

## どんど焼きで焼いて食べるもの

どんど焼きでは、様々なものを焼いた後に、焚火のような形で、お餅や団子を木の枝や竹に刺して食べるまでを行事としています。これは、どんど焼きの聖なる火で焼いたものを食べることで無病息災を願うというものです。お団子やお餅以外にも、みかんを棒に刺して焼いて食べる風習もあります。

## どんど焼きの注意点

多くの場所で、プラスチック(ビニール袋も)、金属類(針金等の小さなものも)、は持ち込みを禁止されているところが多いです。ダイオキシンの発生等環境に配慮したもので、ほとんどの場所で禁止されていますので、特に正月飾りに小さくついていないかを確認しましょう。

